

東京湾海況情報 18-09

東京湾水質調査結果（平成18年12月分）

平成18年12月11日
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071 FAX 0439-65-3072
 E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp

東京湾水質調査結果(平成18年12月分)

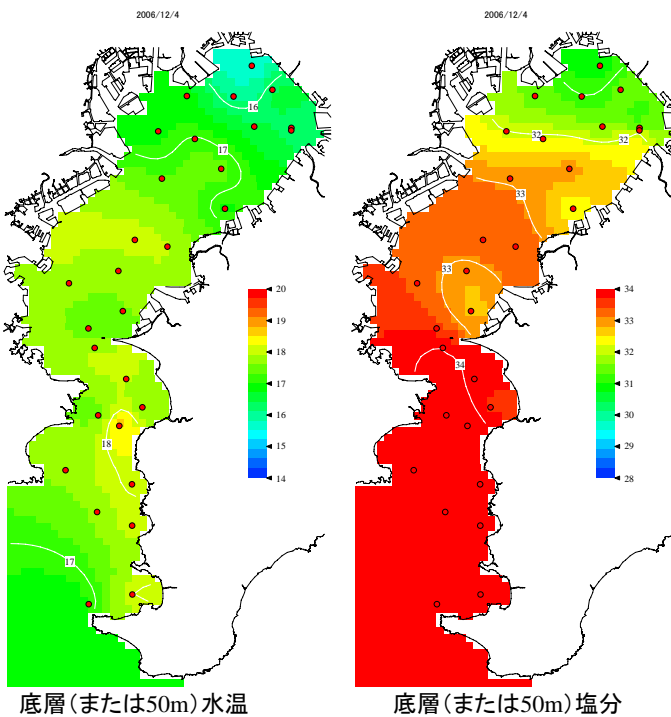
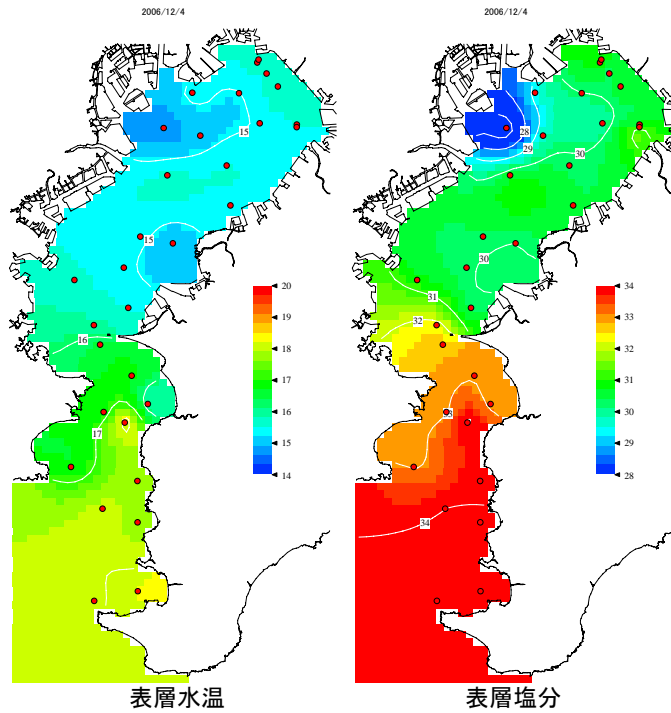


図1 東京湾の水温・塩分分布

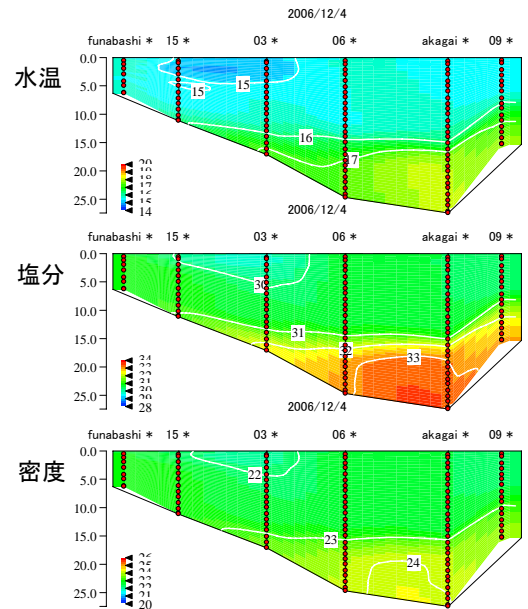


図2 内湾の鉛直分布

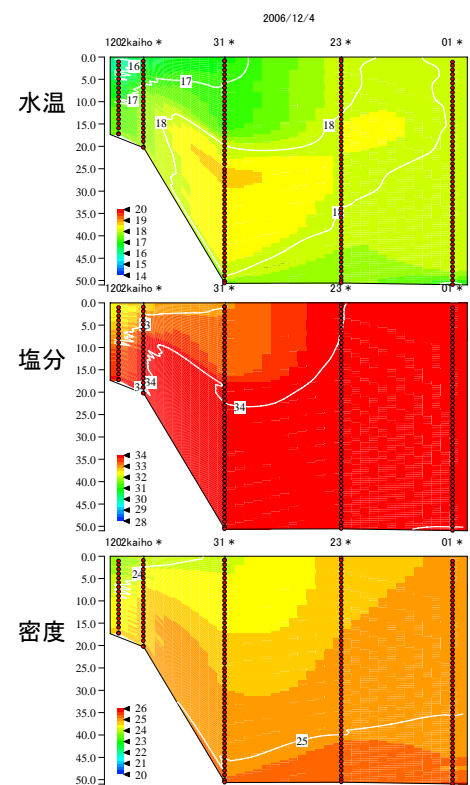


図3 内房の鉛直分布

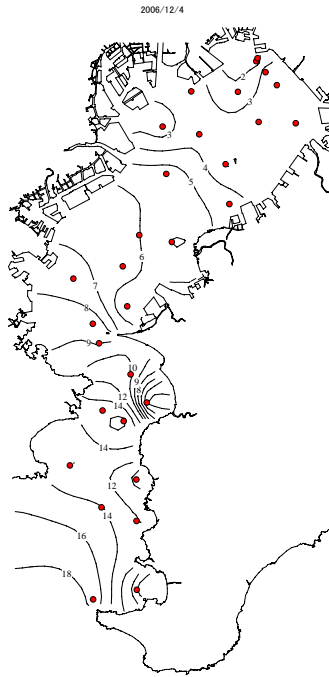
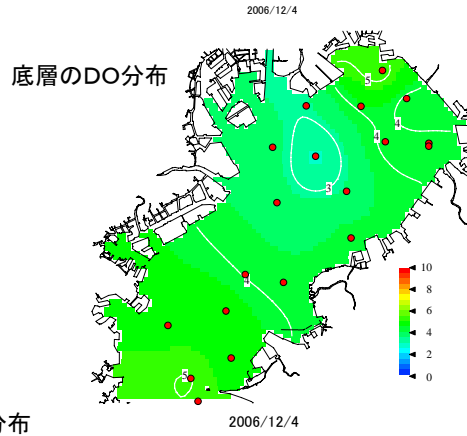


図4 透明度の分布 (単位: m)



鉛直分布

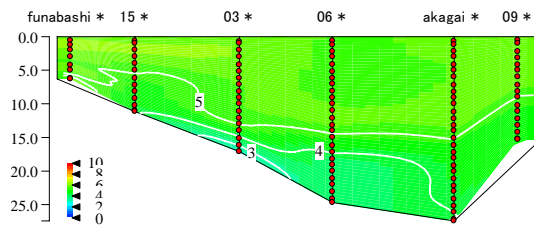
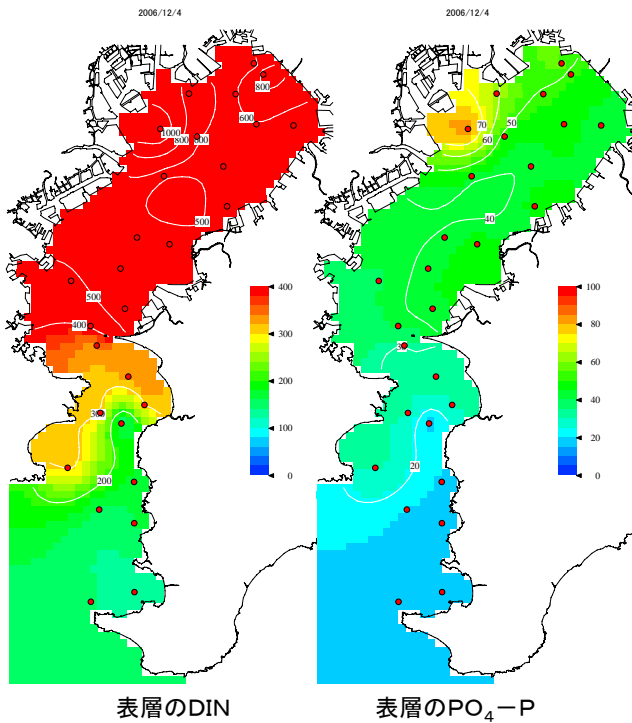


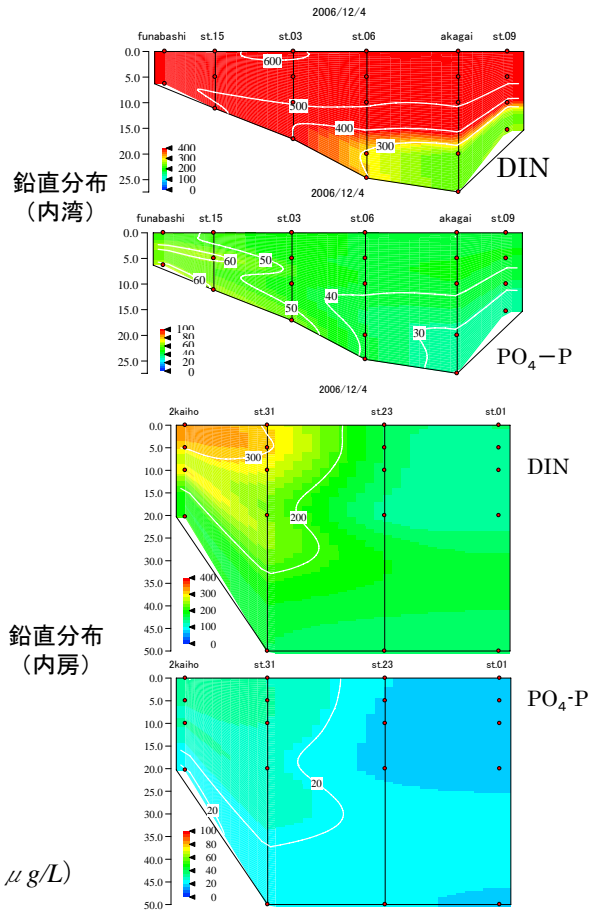
図5 内湾のDO分布 (単位: ml/L)



表層のDIN

表層のPO₄-P

図6 栄養塩の分布 (単位: $\mu\text{g/L}$)



鉛直分布 (内湾)

鉛直分布 (内房)

水温・塩分(図1~3、表1)

表層の水温は、内湾と内房それぞれ14~16℃、16~18℃であり、ともにほぼ平年並みでした。表層の塩分は、内湾は27~31(平年より0.5~2低め)、内房は32~34(平年より0.1~0.5低め)でした。
 また、観音崎以北の海域の底層水温は平年より0.5~2℃高かったです。底層の塩分は、観音崎からアクアラインにかけての海域がやや高め(平年より1ほど高め)でした。
 南北縦断ラインでの水温と塩分の鉛直分布は、内湾は水温14~18℃、塩分は28~34でした。内房は、水温16~19℃、塩分33~34でした。

赤潮の状況(図4、表1)

赤潮の発生は見られませんでした。
 9月から前月まで継続して多く出現していた珪藻のニッチア (*Nitzschia pungens*) は見られませんでした。主な出現プランクトンは、珪藻のスケルトネマ (*Skeletonema costatum*) でした。
 透明度は、内湾 2~6.5 m、内房 5~17mでした。表層のクロロフィルa (センサー値)は、内湾 7~20 μg/L、内房 1 μg/L 以下でした。
 千葉県赤潮の目安(内湾海域)は
 「海色：オリーブ色~褐色、溶存酸素の飽和度：150%以上、透明度：1.5m 以下、
 pH：8.5 以上、クロロフィルa量：50 μg/L 以上」としています。

貧酸素水塊の状況(図5、表1)

内湾底層のDOは2.6ml/L 以上であり、貧酸素水塊は見られませんでした。
 なお、水産総合研究センターでは溶存酸素量 2.5ml/L (飽和度50%) 以下を貧酸素水としています。

栄養塩類(図6、表1)

表層の溶存無機態窒素(DIN)は、内湾 500~1,000、内房 100~350 μg/L でした。内湾の富津と盤州は平年よりやや高めでしたが、船橋は逆に平年よりやや低めでした。内房は平年より 20~50 μg/L 高めでした。
 表層のリン酸態リン(PO₄-P)は、内湾は40~80、内房は10~30 μg/L でした。内湾、内房ともにほぼ平年並みでした。

黒潮の動き(図7)

12月4日の一都三県漁海況速報によると、黒潮は八丈島付近で小蛇行した後東進し、141.5° E付近を北上していました。

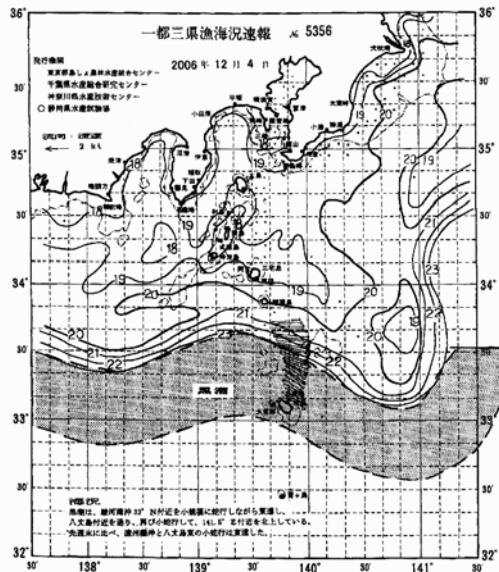


表1 主な調査点の水質調査結果(表面)

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (mg/L)	溶存無機 態窒素 (μg/L)	リン酸 態リン (μg/L)	アンモニア 態窒素 (μg/L)	クロロフィ ルa量 (μg/L)
船橋	1.8 (4.6)	15.4 (14.0)	30.71 (31.28)	8.4 (8.1)	5.3 (5.2)	558 (696)	53 (53)	36 (201)	19.7
st.15	2.2 (4.9)	15.0 (14.3)	29.97 (31.47)	8.4 (8.1)	4.2 (5.1)	580 (634)	49 (43)	53 (156)	10.7
st.3	3.8 (5.1)	14.8 (14.6)	29.48 (31.20)	8.4 (8.2)	2.6 (4.3)	624 (669)	46 (40)	52 (161)	8.4
st.6	5.5 (6.2)	15.3 (14.7)	30.44 (31.37)	8.4 (8.2)	3.4 (4.3)	511 (625)	41 (40)	39 (135)	7.3
st.9	6.5 (6.2)	15.1 (15.2)	30.04 (32.15)	8.4 (8.2)	4.4 (4.9)	558 (481)	42 (33)	51 (80)	6.8
盤洲Cブイ	4.7 (6.0)	15.2 (15.5)	30.26 (31.72)	8.4 (8.2)	3.9 (4.5)	537 (536)	43 (36)	45 (103)	8.5
st.8 (盤洲Aブイ)	5.0 (6.1)	14.8 (15.1)	30.01 (32.10)	8.4 (8.2)	3.8 (4.7)	541 (504)	43 (37)	48 (99)	8.4
富津ベタ	5.2 (5.5)	15.3 (15.5)	30.23 (32.39)	8.3 (8.1)	4.5 (4.9)	551 (385)	42 (33)	68 (50)	7.2
第2海ほ下	9.0 (7.3)	16.2 (15.8)	32.56 (32.96)	8.1 (8.2)		329 (354)	30 (26)	32 (58)	0.5
st.31	15.0 (10.4)	16.9 (16.3)	32.96 (33.17)	8.3 (8.2)		294 (306)	26 (22)	29 (46)	0.9
st.23	14.0 (16.5)	17.9 (18.1)	34.01 (34.11)	8.2 (8.2)		141 (123)	16 (12)	14 (20)	0.4
st.1	17.0 (19.2)	18.0 (18.5)	34.32 (34.40)	8.1 (8.2)		128 (87)	12 (9)	17 (18)	0.9
st.10 (下洲沖)	10.0 (8.9)	16.6 (16.3)	32.97 (33.22)	8.3 (8.2)		323 (303)	30 (23)	35 (49)	
st.12 (湊沖)	5.0 (8.1)	15.7 (16.2)	32.65 (33.33)	8.3 (8.2)		298 (265)	26 (20)	26 (38)	
st.22 (保田沖)	9.0 (15.0)	17.7 (18.1)	33.90 (34.19)	8.3 (8.2)		158 (121)	15 (13)	15 (22)	
st.24 (富津沖)	12.0 (14.9)	17.5 (18.5)	34.07 (34.33)	8.1 (8.2)		151 (101)	15 (11)	15 (22)	
st.25 (船山湾内)	8.5 (15.7)	18.1 (18.7)	34.24 (34.37)	8.1 (8.2)		107 (87)	11 (9)	16 (19)	

クロロフィルaはセンサー値を使用しています。()内は過去10年間の平均値(ただし富津ベタは過去6年分)
 ※透明度とクロロフィルa量の網掛けは赤潮、DOの網掛けは貧酸素水の基準に達していることを示しています。

図7 黒潮の動き

資料：東京湾水質調査(12/4 内湾：わかふさ 内房：ふさみ丸)
 海上保安庁海洋情報部(千葉灯標モニタリングポスト)
 一都三県漁海況速報、東京湾口海況図